

# ビオトープ「シーオ」に 苗代を設置しました



種まきの様子

した。種をまいた育苗箱を田んぼの中に並べ、ネットをかけたら完成です。

シーオの田んぼは「生きもの第一」でイネを育てる田んぼです。皆さんがまいた小さな種が、今シーズンいっぱい、多くの生きものの命をはぐくみます。そんな生きものたちに会いに遊びに来てください。



苗代を田んぼに設置



「シーオささえ隊」募集中です

## シーオささえ隊 募集中!

「シーオささえ隊」は、シーオの立入禁止エリアにも入り、管理作業を体験し、シーオの成長や活動を支えるグループです。

自然のしくみや生きものの知識も、より詳しく学べます。参加をお待ちしています。詳細はこちら。



## 桜環境センターの 利用団体紹介

### フードパントリー 大宮

#### 食料支援でつながって

フードパントリー大宮の活動は、DVから避難してきた母子家庭の集りで、生活が苦しく食事に困っているとの声が上がったことから2019年に始まりました。

フードパントリーとは、食品倉庫の意味。家庭や企業などで不要となった食品を必要な人に届けるフードドライブとして、困っている家庭に配布しています。

#### 活動を支える協力者

多くのボランティアの方と2か月に1回、登録している家庭に連絡して食料を配布します。「何度かパントリーに通われると、様々な相談をしてくれる人もいます。わずかな量の配布ですが、母子家庭の孤立を防ぐ、寄り添いの支援になっていると感じます」と代表の尾内浩子さん。



活動継続のため支援を  
フードパントリー大宮では、配布場所と活動資金と運搬用の車が不足しています。尾内さんは、食品を廃棄している企業・農家・個人の方と知り合いたいと常々思っています。

「果物や野菜の加工工場」の皆さま、廃棄食品をパントリーと協働して、支援に使うことをご検討いただくと幸いです」とのこと。不要な食品に心当たりがある方、ぜひご一報ください。●フードパントリー大宮をより詳しく紹介しているHPはこちら。



## 知っているようで知らない 番外編 【ごみの正しい出し方】

### 発火の危険



4月、桜環境センターのリサイクルセンターでアルミ選別機の火災が起きました。「もえないごみ」に混ざっていたリチウムイオン電池が発火したものです。

充電して使用する家電などに内蔵されているリチウムイオン電池は、潰されたり砕かれたりすると発火する性質があります。

**充電式電池内蔵の  
主な製品**

ハンディファン、電気かみそり、電子たばこ、コードレスクリーナー、電動歯ブラシ、ゲーム機

処分する際は、①電池を取り外せるものは外して電極にテープを貼り(絶縁)、電池回収箱に入れる。②取り外せないものは本体ごと使用済小型家電回収ボックスに入れる、③回収ボックスに入らないものは、ごみ処理施設に直接持ち込む。いずれかの方法で行ってください。

電池回収箱は、各区役所、コミュニティセンター、図書館、公民館などに設置してあります。

小型家電投入口 30x15cm

電池回収箱

使用済小型家電回収BOX

**電池、バッテリーは  
電池回収箱へ**